

## 將來に於ける交通と國土計畫との關係に就て

正會員 濱 田 秀 雄\*

本文はカール、ピラトー博士により編輯された「交通と地域計畫」に関する論の一節である、交通の目標に關して舊て意義あるものと信ずる

獨逸の國家政策的、社會政策的並びに經濟政策的の必要より規定される新しき空間秩序の目標又は課題は交通に關する限り次の4項目に圍められる。

- 1 人口政策的、社會政策的及び國防政策的の根據に基づく工業の移駐並びに分散
- 2 人間と土地との結合の強化
- 3 その土地固有の自然的構成要素に基づく國民經濟の能率増進
- 4 都市人の郊外に於ける保養可能性の改良

新しき空間秩序の生活上重要な之等の要求は個々に詳細な説明や理論付けを必要としない。

第1項に於て重要なのは工業の分散を要求する人口政策的の並びに社會政策的の根據である。その際既存の工業を分散すると言ふよりも新工業を空間に分散し既に分散せる工業地域を保護すると言ふ事が考へられてゐる。之に反して既存の工業集積地に對しては第2項に従つて工業労働者及び大都市住民の土地への結合が一層強度に助長されねばならない。

農業の領域に於ては農民の工業都市への逃避が未然に防止される。

第2項には國家の新建設の大目標がある、労働者を土地に定着させることと農民階級の確保と振興を圖る事である。

第3項は4箇年計畫の方策と直接關係があり、第4項は一般的空間不足の結果土地に親しむ事の少い大都市の住民の大多數をして容易に郊外に於て保養せしめる爲である。

新しい空間規畫の此の要求を滿す爲に交通需要の姿で交通制度の中に空間的、時間的、量的に色々な新しい問

題が起つた。此の需要に應ずる必要から特殊の交通計即ち交通制度に於ける供給計畫が生れた。

其は空間開發の外部的表現たる交通網、特殊の場所更の擔當者たる交通經營に關係し更に又交通關の利権の平等權保護及び交通による經濟振興の重要な要素なる運賃構成に關係する。だが交通が一方的に奉仕すべで無く交通の需要源も亦交通網の特殊性と能力とを程度まで顧慮しなければならぬ。

例へばその地方を交通技術的に開發することが原料輸入と製品の輸出にとつて非常な困難と多額の費用をするが如き地方に工場を設置する事は誤りである。

次に交通と地域計畫との諸關係を新しく規畫する長距離交通及び近距離交通にとつて物に重味を有するも重要な事項を論じなければならぬ。

これが爲め僅め一般的と地域の生活圏との文化が刺激を強調しなければならぬ。確に空間は總ての人間にとつて交通技術的に充分開發されねばならない。

併し又空間は郷土の保護者たる地位を捨てねばなら人生を形成しそれに最も力強い内容を興へる力は郷土集り郷土で成長するのである。其故出来るだけ早快速旅行に向つて強く努力すると共に遐想に耽つたり自然對話したりする場所を破壊しない様にする事も又交通課題である。

人間はテンポの早いことを誇りとするのは良いがスタートの増助によつて感覺性や思索を淺くしない様に心くべきである。

かくしてこそ交通は人間の居住と大自然との旬の交作用に其の文化的に重要な奉仕を爲す事が出来るのである。

\* 工學士 總務調査官

若し我々が交通計畫の具體的な課題を取上げ交通計畫  
地計畫の重要な課題を行ふ際に上述の4原則に従  
て如何にして住居と工場との合理的配置に實際に貢献  
得るかと同ふならば次の事項が研究されねばならぬ。

- 1 交通網が空間開發のれめに充分な適合性と密度を  
有するか。
  - 2 種々の交通機關の合同作業に於て如何にせば適當  
な場所に設置されるか。
- 此の考察に當つては4箇年計畫をも顧慮しなければな  
らぬ。
- 新しき空間秩序は第一に如何なる交通機關に根據を置  
ねばならぬかと言ふ問題が提出された場合、國防政策

上から見て從來の陸上支配、海上支配の武力問題の外に  
空中空間なる新領域の出現したことを忘れぬ様になけ  
ればならぬ、このことから發生する地域計畫及び交通計  
畫への影響を一々論じる暇はないが、併し空中空間の交  
通上の開發が居住配置にとつてのみならず、水陸の交通  
網計畫にとつても亦全く新しい條件を齎したことは詳細  
に説明するまでも無、ことである。この條に顧慮する。  
ことは獨逸が歐羅巴大陸の中心に位してゐる故に、交通  
計畫に對するあらゆる要求の第一位に立つものである。  
交通計畫のその他の重點は平時の課題に置かれても構  
へぬが。

(以上)

### 内務省土木試験所報告 及彙報の實費頒布

從來土木試験所報告及彙報は關係方面にのみ配布されて一般の希望には應ぜられなかつ  
たのであるが今後發行の分即ち報告第六十一號、彙報第十七號以降を試験所内一如會に於  
て一定部數を限り實費頒布されることになつた。大體一冊一圓程度である。詳細は次に照  
會のこと

東京市本郷區駒込上富士前町一一六

内務省土木試験所内 一如會

振替 東京一七三一八二番

尙最近發行されたものは次の通りである。

土木試験所報告第十一號 (實費一圓送料不要)

- |        |   |   |
|--------|---|---|
| 内<br>容 | { | 一、基礎微分方程式を累級數は展開して解き之に依つて變斷面桁の固有振動數<br>を求むる方法 (横田 技師) |
|        |   | 一、木材合成桁の合成工法と強度に關する實驗的研究 (村上 技師)                      |
|        |   | 一、黃土路床土の固定に關する基礎試験 (關島 技師)                            |
|        |   | 一、鋼道路橋設計資料並に鉄結鋼桁橋標準設計案 (牧野 技師)                        |

土木試験所彙報第十七號 (實費一圓五十錢送料不要)

内 容

- 一、過 亂、流 (佐藤 技師)

以 上